

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	おおくぼ児童デイサービス モッピー（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2025年10月15日		～ 2025年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	2025年10月20日		～ 2025年11月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月10日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「させる事」よりも児童が考えた「遊びたい事」を中心に取り入れて活動を考えている。	・児童が自身のしている事に意識を持てるように活動や遊び、友だちとの関わりにおいて、声かけなどを行い気付けるよう支援を行っている。 ・児童のアイデアや取り組みを肯定し友だちや職員にも広げ認め合い自信に繋げる。	・モニタリング等で来所した相談員に実際に余暇や活動へ参加してもらい相談員として感じた意見や外部での様子を聞き、児童の支援内容を深めていく。
2	未就学児から学齢児の児童まで異年齢で活動ができる。	・活動プログラムにおいて、年齢や個人の能力、特性に応じて内容や難易度の変更を行うなど柔軟な対応を実施している。	・意識して異年齢同士で協力し合えるように、チームやペアになり取り組めるプログラムの立案を進める。
3	アセスメント等の面談の際に、児発管に限らず、支援に関わる職員として気付きや伝えたい事があれば直接伝える事ができる。 面談の中でも発見や修正を行いながら情報共有ができる体制がある。	・面談での聞き取った内容や気付きを適時職員間で共有し、関わりや対応を柔軟に変化させている。	・幼稚園、保育所より在園中の情報を聞き出し、事業所作成の個別支援計画の説明をするなど事業所での取り組みを伝え、相互の情報交換の時間を確保できるよう連携の強化を図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域、保護者同士、きょうだい、他事業所などの交流が少ない。	・交流が可能な日程の調整が難しい。	・ニーズを調査しながら悩みや意見の交換ができる場の提供として保護者会の開催を検討する。 ・こども部会など積極的に参加をし他事業所とのつながりを深める。 ・児童、成人を問わず近隣の障害福祉サービスの繋がりを深め交流の機会などの設定を検討する。
2	普段の活動の様子を直接保護者に見てもらえる機会が少ない。	・HUG（保護者連絡システム）を通してのやり取りや口頭での伝達だけでは伝わり方も受け取り方も異なって来る。	・保護者参加型の活動の企画や活動を見学する機会の提供を検討する。 ・直接の参観でなくともzoomなどオンラインを活用した機会も含めて検討する。 ・直接見る事で、モッピーの活動への理解や保護者の安心感の向上に繋げていく。
3			